



当資料には、当社の計画・戦略・業績等の将来予想に関する情報が含まれています。

これらの記載は、現在入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、これにはリスクおよび不確実な要素が含まれています。

当社の実際の行為、業績は、経済情勢、事業環境、需要動向、為替動向等により、将来予想とは大きく異なる可能性があります。

■目次

- ① 中間期の連結業績概要
- ② 通期の連結業績予想
- ③ 事業別の状況

3

2008年3月期 中間期
連結業績概要

4

■業績の概要

- ・増収、減益。
- ・海外子会社の収益悪化。

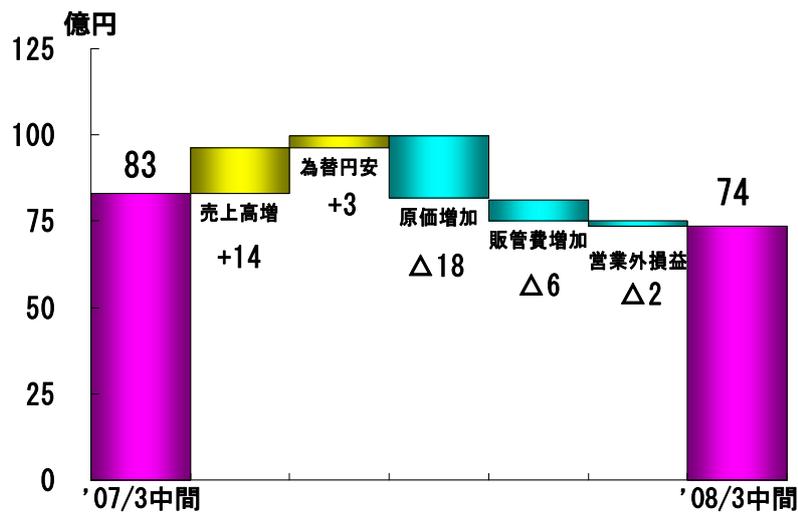
減価償却費など固定費の負担増が利益を圧迫。

単位：億円

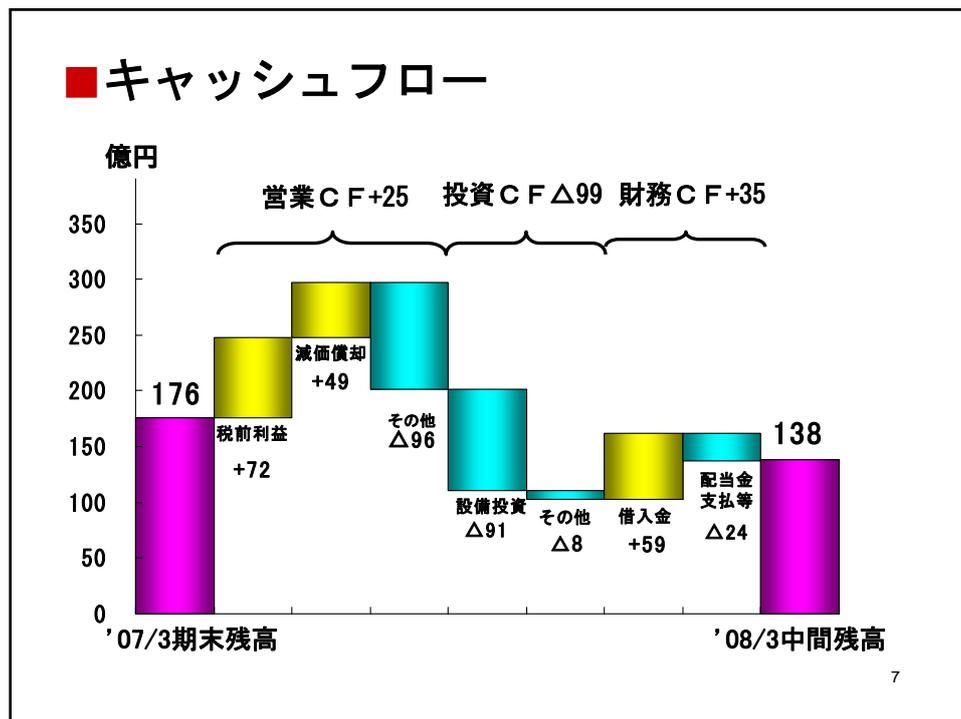
	'06/3 中間 (利益率%) 実績	'07/3 中間 (利益率%) 実績①	'08/3 中間 (利益率%) 実績②	前中間期比 ②-① <増減率%>
売上高	827	980	1,061	82 < +8.3>
営業利益	(7.6) 63	(8.3) 81	(6.9) 74	△8 < △9.5>
経常利益	(7.9) 66	(8.5) 83	(6.9) 74	△9 < △11.4>
当期純利益	(4.9) 41	(5.6) 55	(4.0) 43	△12 < △21.5>
	'06/3期末 実績	'07/3期末 実績①	'08/3中間 実績②	前期末比 ②-① <増減率%>
総資産	1,779	2,025	2,073	48 < +2.4>
利益剰余金	259	340	363	23 < +6.7>
有利子負債	398	383	445	62 < +16.2>

5

■経常利益増減要因



6



■ 事業別の業績

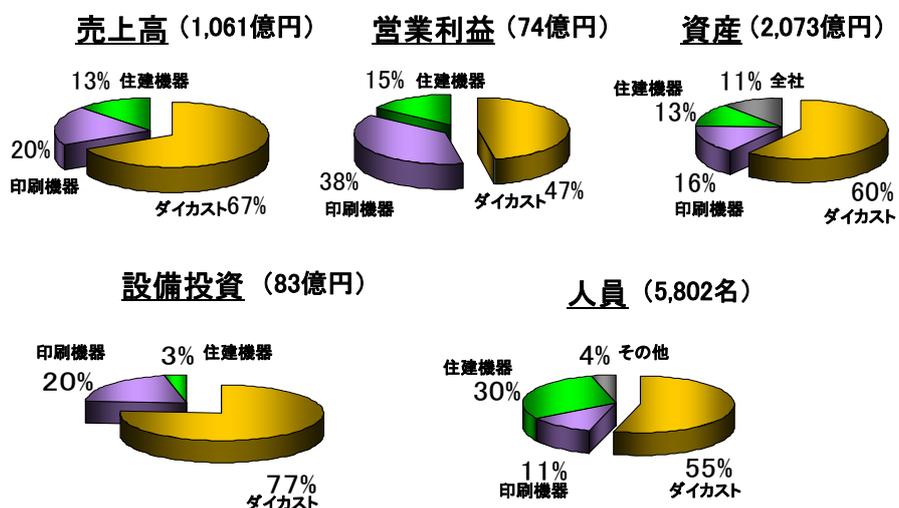
- ダイカスト、印刷機器、住建機器の全事業が増収。
- 営業利益はダイカスト事業が減益。
印刷機器事業、住建機器事業はわずかに増益。

単位：億円

	'06/3中間 (構成比%) 実績	'07/3中間 (構成比%) 実績①	'08/3中間 (構成比%) 実績②	前中間期比 ②-① <増減率%>
売上高				
ダイカスト	(65.3) 540	(67.5) 662	(67.5) 716	55 <+8.3>
印刷機器	(19.0) 157	(19.0) 186	(19.6) 208	21 <+11.5>
住建機器	(15.7) 130	(13.5) 132	(12.9) 137	5 <+4.1>
営業利益 (利益率%)				
ダイカスト	(5.7) 31	(6.6) 44	(4.8) 35	Δ9 <Δ21.2>
印刷機器	(12.3) 19	(14.4) 27	(13.4) 28	1 <+3.7>
住建機器	(10.0) 13	(8.0) 11	(8.1) 11	1 <+5.0>

8

■ 事業別構成比('08/3中間期)



9

■ 事業別営業利益の増減の要因

- ①ダイカスト (△9億円)
- ・ 海外子会社の収益悪化
 - ・ 減価償却費の増加

単位：億円

	'08/3中間	'07/3中間	増減
投資計	91	111	△20
設備投資	64	87	△23
ダイカスト金型投資	27	24	3
償却計	65 (5)	44 (0)	21 (5)
設備償却	42 (2)	28 (0)	14 (2)
ダイカスト金型償却	23 (3)	16 (0)	7 (3)

※ ()は税制改正増額分

10

■事業別営業利益の増減の要因

②印刷機器 (+ 1 億円)

- ・ 輸出は好調
- ・ 国内は苦戦

③住建機器 (+ 1 億円)

- ・ 売上高の増加
 パワーツールの輸出、
 建築用品の国内販売が
 若干増加

11

2008年3月期 通期 連結業績予想

12

■ 経営環境

① 景気の動向

- ・ 国内は先行き懸念が増す。
- ・ 米国はサブプライムローン問題などから減速感が強まる（世界の経済に波及）。
- ・ 中国などは拡大。

② 懸念材料

- ・ 原油、原材料価格の上昇・高止まり。
- ・ 為替の急激な変動。

13

■ 下半期の予想為替レート

U S \$ = 110円 (30百万円)

E U R = 150円 (10百万円)

stg£ = 220円 (5百万円)

()内は1円変動した場合の半年間の
営業利益影響額

14

■業績予想

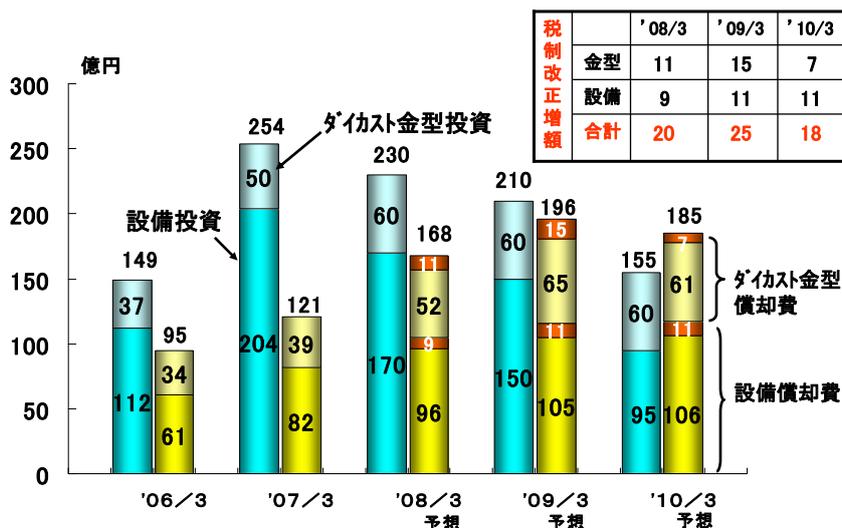
・増収、減益

単位：億円

	'06/3期 (利益率%) 実績	'07/3期 (利益率%) 実績①	'08/3期 (利益率%) 予想②	前期比 ②-① <増減率%>
売上高	1,712	2,047	2,125	78 <+3.8>
営業利益	(7.7) 132	(8.0) 164	(6.7) 142	△22 <△13.2>
経常利益	(7.8) 134	(8.0) 164	(6.4) 137	△27 <△16.5>
当期純利益	(5.0) 86	(4.8) 99	(3.7) 79	△20 <△20.0>

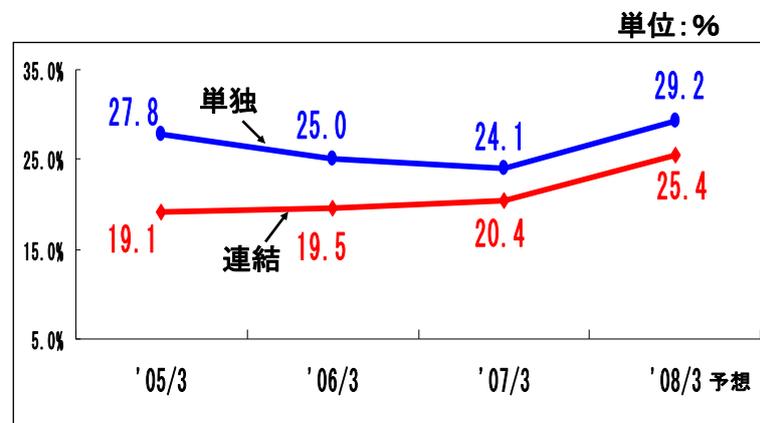
15

■設備投資・タカスト金型投資と減価償却費



16

■ 配当金・配当性向



年間配当金 (円/株)

7.5

10.0

12.0

12.0

中間配当は'99/3期以来

〔 中間 6.0
 期末 6.0 〕

17

事業別の状況

18

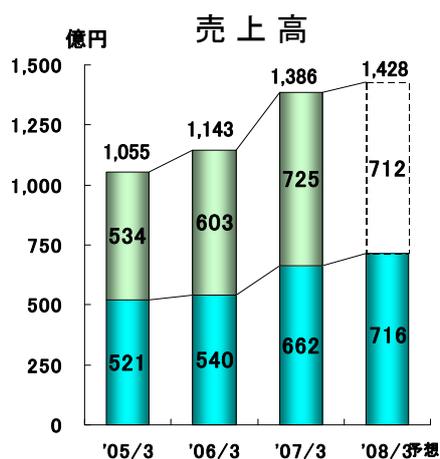
■事業別の業績

単位：億円

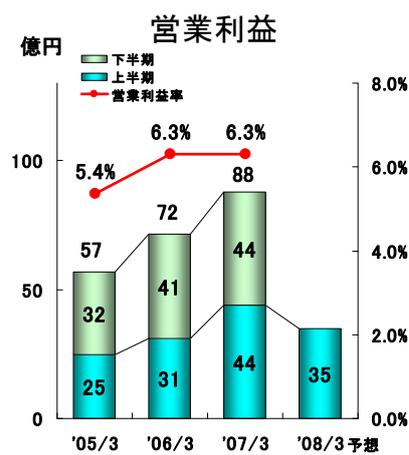
	'06/3期 (構成比%) 実績	'07/3期 (構成比%) 実績①	'08/3期 (構成比%) 予想②	前期比 ②-① <増減率%>
売上高				
ダイカスト	(66.8) 1,143	(67.7) 1,386	(67.2) 1,428	42 <+ 3.0>
印刷機器	(18.9) 323	(19.5) 398	(20.5) 435	37 <+ 9.2>
住建機器	(14.4) 246	(12.8) 262	(12.3) 262	0 <△ 0.1>
営業利益 (利益率%)				
ダイカスト	(6.3) 72	(6.3) 88		減少
印刷機器	(13.3) 43	(14.7) 59		増加
住建機器	(7.2) 18	(6.5) 17		減少

19

■ダイカスト事業

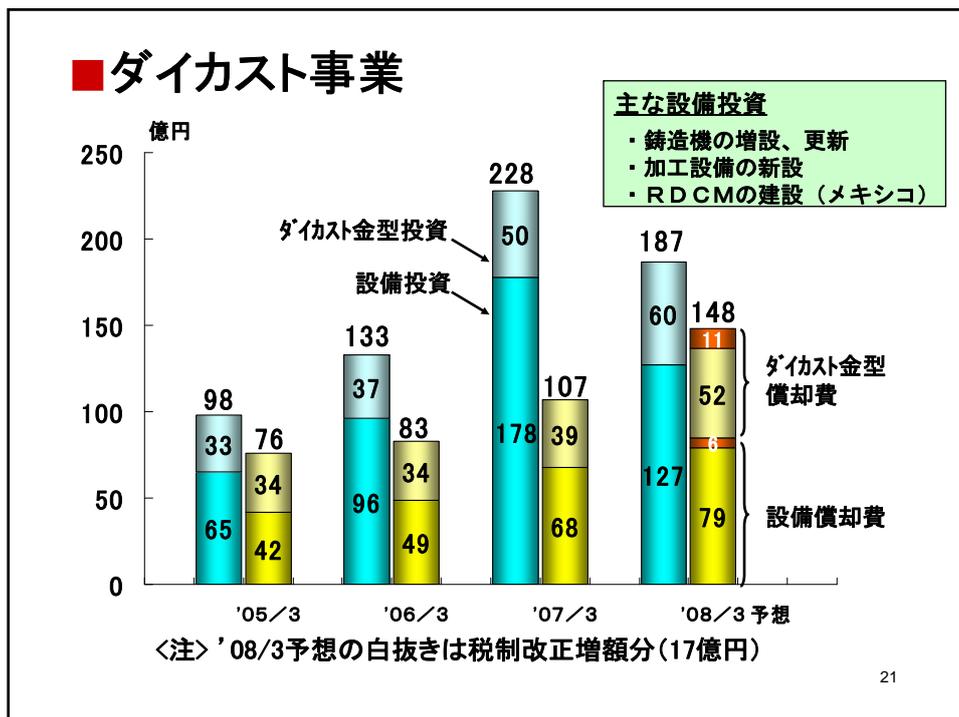


国内自動車メーカー向けなどが堅調。上半期増収により通期でも増収の見通し。



売上高増加だが、海外子会社の収益悪化、減価償却費の増加などにより減益の見通し。

20



21

■利優比压铸(大連)有限公司

2006年7月建物完成。総投資額40億円。

- ・ 2006年11月から金型の生産を開始 (リョービ向け)。
- ・ ダイカスト製品は2007年12月から量産開始予定。
(上海GM向け)



■ RDCM, S.de R.L.de C.V.

所在地 メキシコ合衆国 グアナフアト州 イラプアト市

設立 2007年4月

生産開始 2008年10月からダクタ製品を量産開始予定。

総投資額 約 51億円

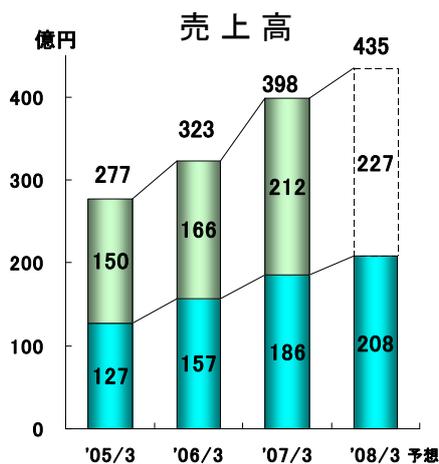


完成予想図

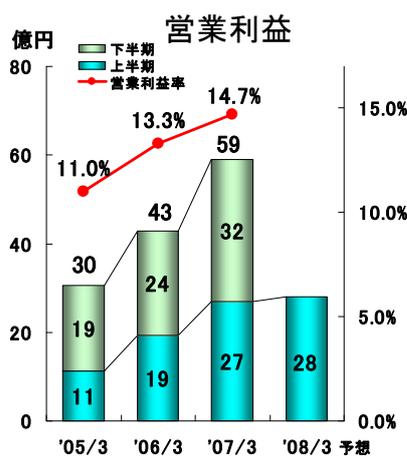


23

■ 印刷機器事業

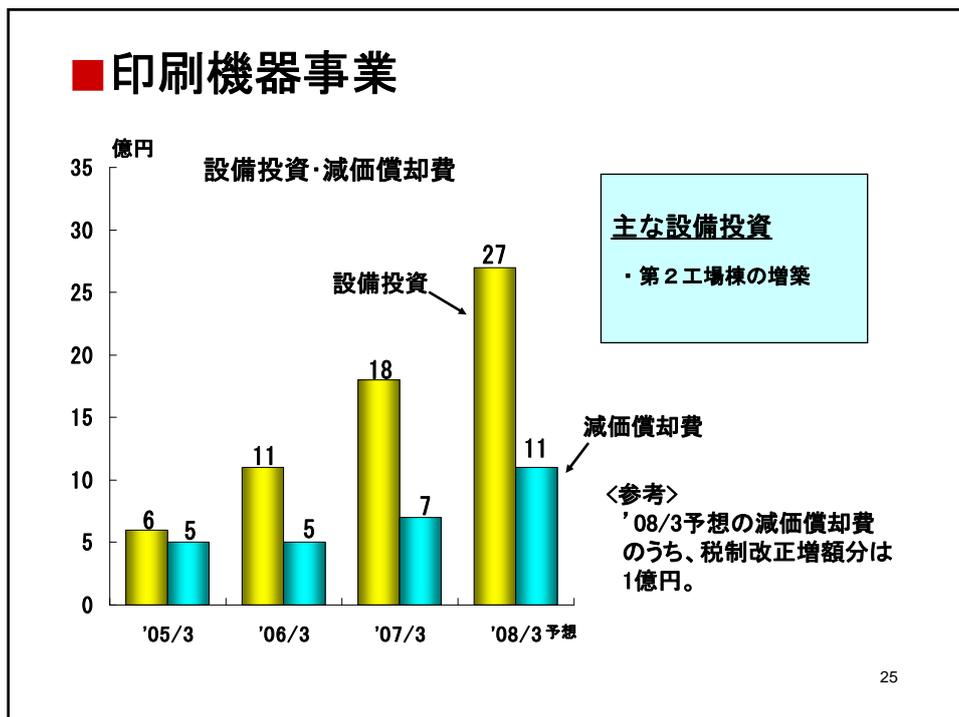


欧州、米州、アジア向けを中心に
輸出を伸ばし、増収の見通し。



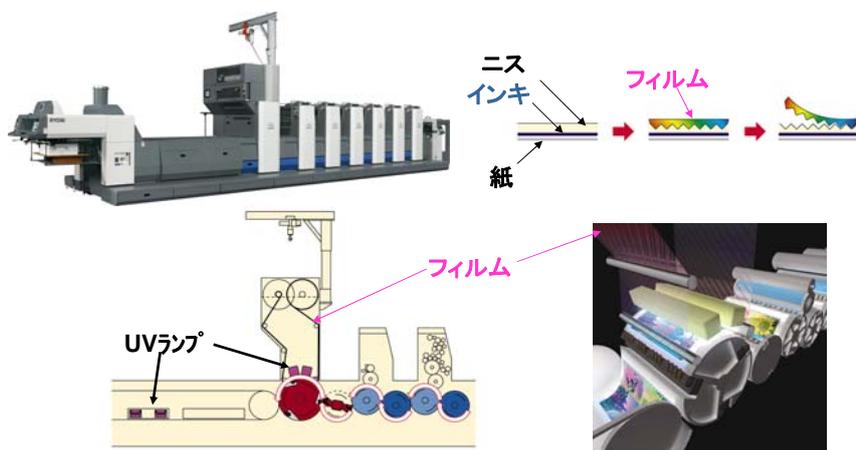
売上高の増加などにより増益の
見通し。ただし、国内は減益の
見通し。

24



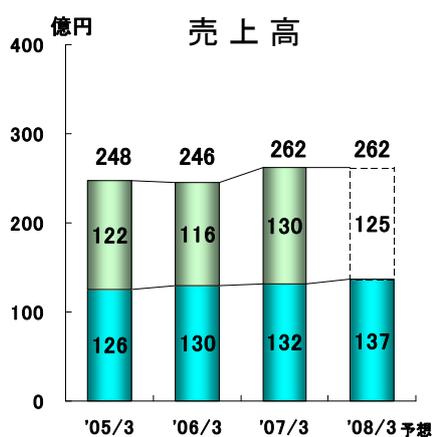
■ インラインUVキャストシステム 搭載印刷機

世界初！
印刷とホログラム加工が一度にできる

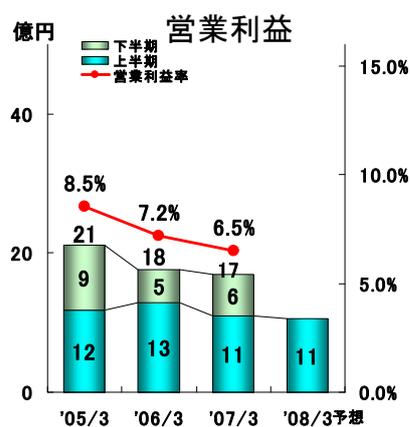


27

■ 住建機器事業

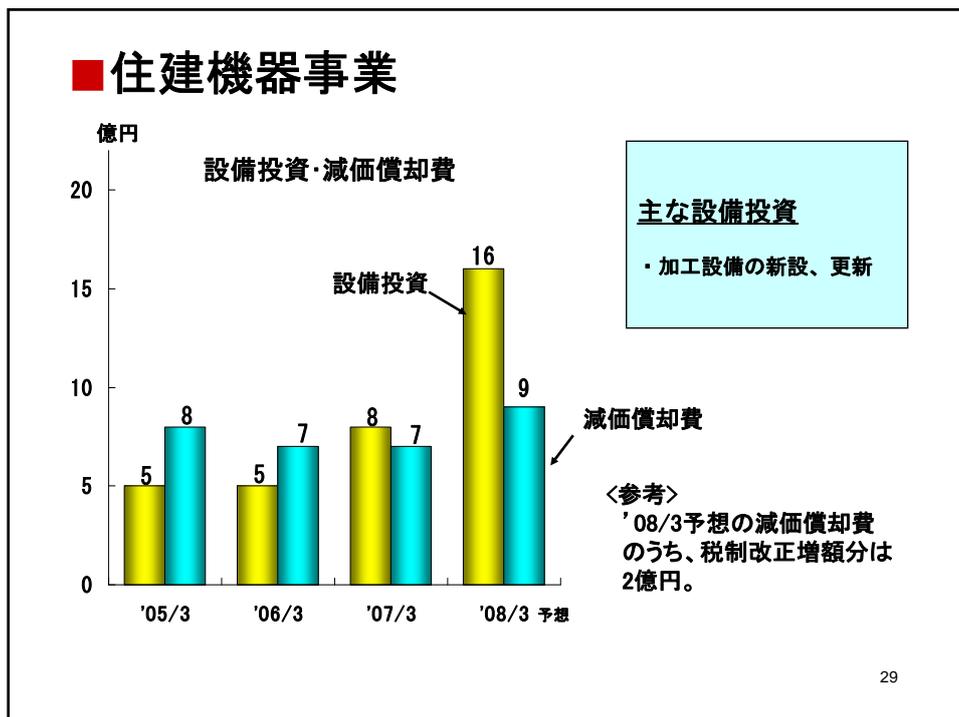


上半期はわずかに増収だが、通期では横ばいの見通し。



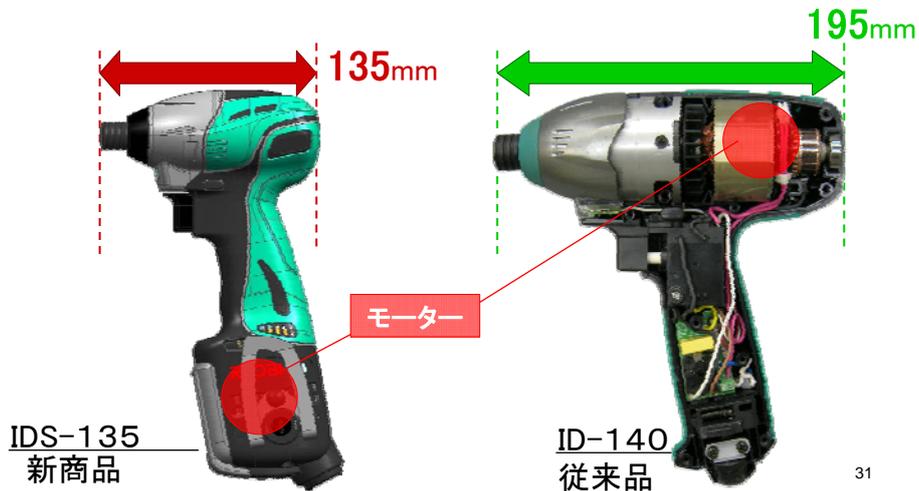
上半期は横ばいだが、通期では減益の見通し。

28



■インパクトドライバ IDS-135

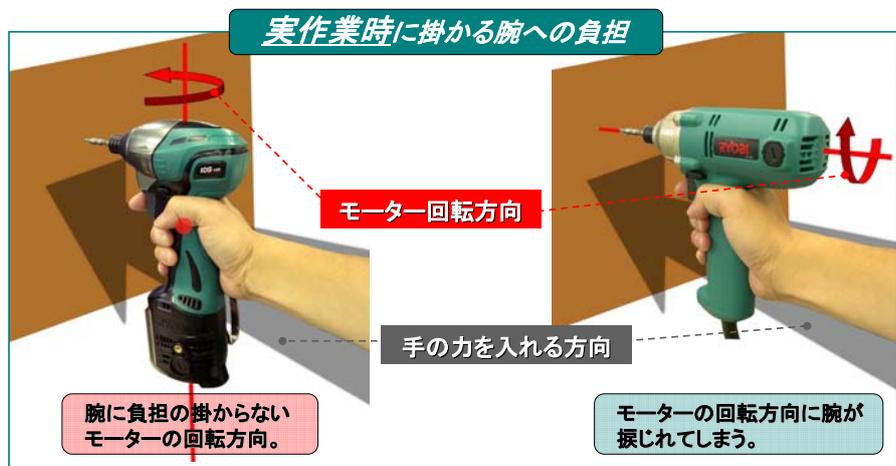
モーターをハンドル下部に配置し、**全長135mm**を実現。
電気式のインパクトでは業界最短。



■インパクトドライバ IDS-135

ジャイロ効果

リヤモータ構成によるジャイロ効果により、**腕にかかる負担を軽減**。



■ 住建機器事業 (建築用品)



ダイヤモンドアクローザ



バックチェック機能付ドアクローザ



耐震ドア対応
コンシールドドアクローザ

33

■ 企業理念

技術と信頼と挑戦で、
健全で活力にみちた企業を築く。

34